

EDIUS Elite/Pro 7

EDIT ANYTHING

リリースノート

2014年4月版

機能追加

- SONY XAVC S フォーマットファイルのエクスポートに対応しました。
- Professional Disc に対する XAVC フォーマットでの入出力に対応しました。
- SONY HDR-AS100V で記録された XAVC S タイムコードの取り込みに対応しました。
- SONY PMW-1000 への XAVC フォーマットによる出力に対応しました。
- Panasonic AJ-PX5000 / PX270 で追加された AVC-Ultra フォーマットファイルの入力に対応しました。
- Panasonic LUMIX GH4 で録画した 4K ビデオファイルの入力に対応しました。
- プレビューウィンドウ上でマルチチャンネルオーディオのモニター機能を追加しました。
- プレビューウィンドウ上でオーディオレベルを調整する機能を追加しました。
- DaVinci Resolve との AAF エクスチェンジによるワークフローに対応しました。
- GenArts Sapphire After Effects プラグインに対応しました。
- 再生バッファの上限サイズを 8GB に変更しました。
- サンプリング周波数 96 または 192kHz のオーディオ出力に対応しました(※1)。
- MP4 ファイル出力時に低ビットレートオーディオの選択に対応しました(※2)。
- Matrox MXO2/MXO2 Rack/Mojito MAX を使用した入出力に対応しました。

※1 以下のファイル出力時に 96 または 192kHz のオーディオサンプリング周波数を設定できます。

- Grass Valley HQ/HQX/Lossless AVI
- Uncompressed AVI (RGB/RGBA/YUYVY;YUY2/v210)
- Quick Time movie
- PCM AIFF, PCM WAVE, Sony/Sonicfoundry Wave64

※2 オーディオチャンネルに応じて、以下のいずれかのビットレートを選択することができます。

2 または 4ch: 32, 48, 56, 64, 96kbps

5.1ch 以上: 56, 64, 96, 128, 160kbps

更新履歴(不具合修正)

以下の不具合を修正しました。

- Quick Time (XDCAM HD コーデック)のクリッププロパティを開いた際、ビデオコーデック名の表記が EDIUS 6.5 と異なる。
- Final Cut Pro で出力した Quick Time (XDCAM HD コーデック)ファイルを再生すると、ビデオにノイズが表示される。
- スタビライザーの解析が終了しているにもかかわらず、スタビライザーエフェクトを適用したクリップの最終フレームに「スタビライザーの解析中」メッセージが表示される。
- AVC-Intra 50 フォーマットでファイルエクスポートすると、ビデオが一部正常に表示されない。
- SD ビデオに含まれるクローズド・キャプションデータがキャプチャできない(HDWS 3GX Elite のみ)。
- クローズド・キャプションデータの SDI 出力ができない(HDWS 3GX Elite のみ)。

- エクスポートファイル名に2バイト文字が含まれていると、K2 Summit へ FTP エクスポートできない。
- XDCAM(SD)機器への FTP もしくは FAM によるエクスポートに失敗する。
- GXF ファイルへエクスポートする時、SD ビデオに含まれるクローズド・キャプションデータを保持できない。
- プロジェクト・プリセット・ウィザードを使用して DV フォーマット系のプロジェクトプリセットを作成すると、フィールドオーダーが正しくセットされない。
- Windows Media Video フォーマットでファイル出力するとピクセルノイズが表示される。
- RAW 現像したデータを 4K DPX フォーマットで出力したファイルを読み込むと色が正常に表示されない。
- AVC-LongG 6 または LongG 12 を選択して AVC-Ultra MXF ファイルへエクスポートするとビデオにノイズが表示される。
- Quick Time の設定で圧縮形式になしを選択してエクスポートすると、エクスポートしたビデオの色が正常に表示されない。
- XDCAM 機器へバッチエクスポートできない。
- EDIUS 起動前に MKB-88 の電源が投入されていると、プロジェクトの編集可能状態になるまで時間がかかる。
- MKB-88 の電源が投入されている状態で編集操作を行うと、キーボードショートカットによる操作が緩慢になることがある。
- HDV テープへ書き出すと、書き出したテープの再生時にビデオが途切れることがある。
- 編集作業中にクイックタイターが強制終了すると、編集作業後に EDIUS が終了できなくなる。
- マルチカムモードでタイムラインの再生とカットポイントの設定を繰り返すと、EDIUS がフリーズする。
- EDIUS でエクスポートした SD サイズの P2 ファイルが、P2 ビューワーや P2 機器で読み込めない。
- 720/50p DVCPRO HD フォーマットの P2 クリップを作成、Bin に登録するとサムネイルが正常に表示されない。

既知の不具合

スタビライザーの解析がバックグラウンドジョブとして処理される

- 現象 スタビライザーの解析が常にバックグラウンドジョブとして処理される。
- 回避方法 なし。

プロキシファイルを通常のクリップとして認識する

- 現象 Bin でクリップを選択、「プロキシを作成」にてプロキシを作成した場合、その素材を別プロジェクトで読み込むとプロキシファイルも通常のクリップとして同時に読み込まれる。
- 回避方法 なし。